



大阪で松前町をPR！

えひめまるごと移住フェス

愛媛県への移住を考えている人を対象とした「えひめまるごと移住フェス」が、8月30日に大阪で開催され、県内各市町の職員が各地域の暮らし、魅力、移住支援制度などを紹介しました。

松前町への移住に関心を持つ人からは多くの質問が寄せられ「交通のアクセス性」や「マチとイナカの相互性」といった魅力をPRする機会となりました。今後も、松前町の魅力を広く知ってもらうため、積極的に情報発信をしていきます。



戦没者を追悼し平和を祈念

松前町戦没者追悼式

「松前町戦没者追悼式」は8月21日に文化センターで行われ、遺族や各種団体の代表者などが参列しました。

参列者全員で黙とうを行った後、田中町長が「平和の尊さと命の重みを次の世代へと語り継いでいくことは今を生きる私たちの重い責務でもある」と述べ、また「先人が守り育んできたこの町がいつまでも心安らぐ豊かなふるさとでありつづけるよう、町民の皆さんと共に住み良いまちづくりを進めていく」と式辞を読み上げました。その後、参列者は献花を行い、戦没者を追悼し平和を祈念しました。



大間「火流し」「灯籠流し」

お盆の伝統行事

「火流し」は8月14日と15日に、「灯籠流し」は8月25日に大間の有明橋付近で行われました。

火流しは、小学生や保護者が、いかだの上にわらを乗せ、火を付けて川の中で引っ張って先祖の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。

一方、灯籠流しは、灯籠を川面に浮かべ、先祖をしのぶ行事です。訪れた人は幻想的な風景を写真に収めるなどしていました。



活発で活力ある松前町に

企業版ふるさと納税による寄付

小川ポンプ工業株式会社（小川元代表取締役）は、7月28日、町行政に役立ててほしいと、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付をしました。

この寄付金は、本町が実施する松前町まち・ひと・しごと創生推進事業のうちの「産業振興・産業連携による活発で活力ある町づくり事業」に活用します。

感謝状贈呈式に出席した 橋 良典第2事業部長は「町づくりに参画できることを光栄に思う。安心して暮らせる町づくりの一助となればこれに勝る喜びはない」と話していました。



夜市でたくさんの笑顔あふれる

第3回えび夜市

「第3回えび夜市」は9月5日、恵久美グラウンドで行われ、たくさんの人でにぎわいました。

会場では、地域の大人や子どもたちが準備した射的、メダカすくい、鯛めしやかき氷などの出店が並び、行列ができていました。

訪れた人は、8月に比べ少し涼しくなった気候の中、おいしい食事や地域の人の会話を楽しんでいます。



100年以上続く伝統を後世へ

塩屋「地藏盆」

塩屋の伝統行事「地藏盆」は8月24日、和多都見神社の南側に祭られている地藏の前で行われました。

これは毎年8月24日に、地域安全、先祖供養や子どもの健全育成を祈願して行われているものです。参加者は、太鼓とかねを囲んで輪になり「なんまいだー、チンカラドン」と唱えながら大きな数珠を回しました。また、先祖供養や悪疫退散などを祈願し、108個のろうそくを灯す「百八灯」も同時に行われ、地域の人、ろうそくの横を通って墓参りを行いました。終了後は、お参りに来た人に飲み物とお菓子が配られました。



▲塩屋（塩屋公園）



▲昌農内（昌農内住民レクリエーション広場）



▲神崎（神崎集会所）



夏の風物詩「盆踊り大会」

町内各地域

町内各地域で8月に、盆踊り大会が行われました。盆踊りは、お盆の時期に先祖の霊を迎え、共に過ごし、送り出すための伝統的な行事です。

参加者は設置されたやぐらなどを囲むように、大きな一つの輪になり、音頭や太鼓のリズムに合わせて踊っていました。大人も子どもも動きをそろえて踊る姿には一体感があり、風情溢れる空間となりました。

また、会場では地域の人々が準備した食事やゲームの出店が並び、訪れた人は思い思いに夏を楽しんでいました。



▲横田（しのざきひろば）

